

リーディングDXスクール事業【実践事例】

春日井市立松原小学校（愛知県）【協力校】

【取組内容】① 児童に学びを委ねつつ、教科の深まりを担保するためのルーブリックの活用

沖縄県の気候に合った 農業の工夫を説明しよう

S A+複数の農作物の工夫を比較し、共通点を説明できる

A 気候と関係づけて工夫を説明できる



① 本時の導入で示す課題とルーブリック

② 自分で情報を集め、整理・分析する

【まとめ・振り返り】

まとめ：沖縄県は、日差しに強く、気温や湿度の高い気候、暖かい気候なので、サトウキビ、パイナップル、菊などの暖かいところを好むとするものに適している。そして、サトウキビは、スプリンクラーを設置し、茎を重ねるなどして、台風などの自然災害に耐える工夫をしている。パイナップルは、大変な思いと、苦勞、工夫を重ねて、沢山の人から美味しいと言われている。菊は、普通の地域では出荷時期は11月から5月だが、沖縄県では、12月から3月に出荷するという抑制栽培をしていて、電灯を使っている。長さを調整するので、電照菊と呼ばれたりしていることがわかった。共通点を考えると、沖縄では暖かい気候にあった作物が育てられていることと、台風や暑さに負けないような工夫がされていることがわかった。

振り返り：「沖縄県の気候と農業をフィグジャムを使って繋げるために、教科書と、資料集、動画の隅々まで読む」という目当てを達成することができた。また、意味の分からない、言葉は、先生が教えてくれたインターネットの情報を元に、意味がわかった。だから、次は、「進んで、わからない言葉を調べ、フリーハンドを使ったり、今回と同じように、教科書、資料集、動画の隅々まで見る。」がめあてにしようと思う。

③ 課題とルーブリックに正対した振り返りを書く（本時の最後3分間）

児童に学びを委ねつつ、教科の深まりを担保するためにルーブリックの活用を重視している。Aは「全員に必ず達成させたい水準」、Sは「Aを達成した児童が次に進む方向性を示す指針」としている。また、課題やルーブリックには、本時で働かせたい見方・考え方が反映させるようにしている。学習中及び振り返りを書く際に児童に適宜確認させている。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

春日井市立松原小学校（愛知県）【協力校】

【取組内容】②情報活用能力の育成に向けた習得目標の共有とチェックシートの活用

R6松原 情報活用能力習得目標表				
※下学年にあるものは習得している前提です。習得できていないようであるなら、下学年の内容も行ってください。				
学年	習得すべき端末スキル	情報モラル・セキュリティ プログラミング	問題解決(思考ツール) ここに載っているもの以外も 活用してもらって構いません 参照: taizan-lab	
1年	☐ 端末の電源ON・OFF	☐ 教室のPC使用のルール（かばん）	☐ X/Y/Wチャート 分類する	
	☐ 端末の持ち方・保管	☐	☐ ペン図 比較する	
	☐ ログイン・ログアウト	☐ （プログラミング）	☐ イメージマップ 広げてみる	
	☐ 拡大縮小	☐ ネットモラル	☐	
	☐ ファイルを開く	☐	☐	
	☐ ファイルのアップロード（自分で）	☐	☐	
	☐ 描画ツールでのお絵描き	☐	☐	
	☐ タッチパッド（トラックパッド）操作	☐	☐	
	☐ アプリの起動	☐	☐	
	☐ 写真撮影	☐	☐	
	☐ 画像挿入	☐	☐	
	☐ 手書き入力での文字入力	☐	☐	
	☐ 課題（動画・写真含む）の提出（提出ボタン）	☐	☐	
	☐ 教材・リンクショートカットを開く	☐	☐	
2年	☐ スクリーンショット（全画面・部分選択）	☐ 作品鑑賞のマナー（図・音・書）	☐ クラゲチャート 理由づける	
	☐ ローマ字入力	☐ （プログラミング）	☐ フィッシュボーン 多面的	
	☐ 文字装飾（文字サイズ、フォント、色等）	☐ ネットモラル	☐ 座標軸 分類する	
	☐ 教材書き込み	☐	☐	
	☐ meet体験	☐	☐	
	☐ 動画撮影	☐	☐	
	☐ ホームポジション	☐	☐	
	☐ 共同編集	☐	☐	

令和6年度版情報活用能力習得目標表（一部）

項目	選択
1 ① アプリで動画を編集すること	まあまあ自信あり
2 ① インターネットや新聞などの情報を伝えるメディアの特徴をよく考えること	まあまあ自信あり
3 ① プログラムで、コンピュータが動いていることをよく考えること	まあまあ自信あり
4 ① コンピュータのプログラムを作ったり、直したりすること	自信あり
5 ① 手順を図で表すこと	まあまあ自信あり
6 ② 地図や図書などの資料から調べること	まあまあ自信あり
7 ② ものごとの全体と中心をつなげて考えること	自信あり
8 ② ものごとを分類して考えること	まあまあ自信あり
9 ② ものごとを分解したり、まとめたりして考えること	まあまあ自信あり
10 ② 資料から、特徴、傾向、変化を読み取ること	まあまあ自信あり
11 ② 声の大きさや間の取り方を工夫して発表すること	自信あり
12 ② 調べたりまとめたりしたことを振り返り、改善すること	自信あり
13 ② インターネットや新聞が伝える情報には、発信者の意図が含	まあまあ自信あり

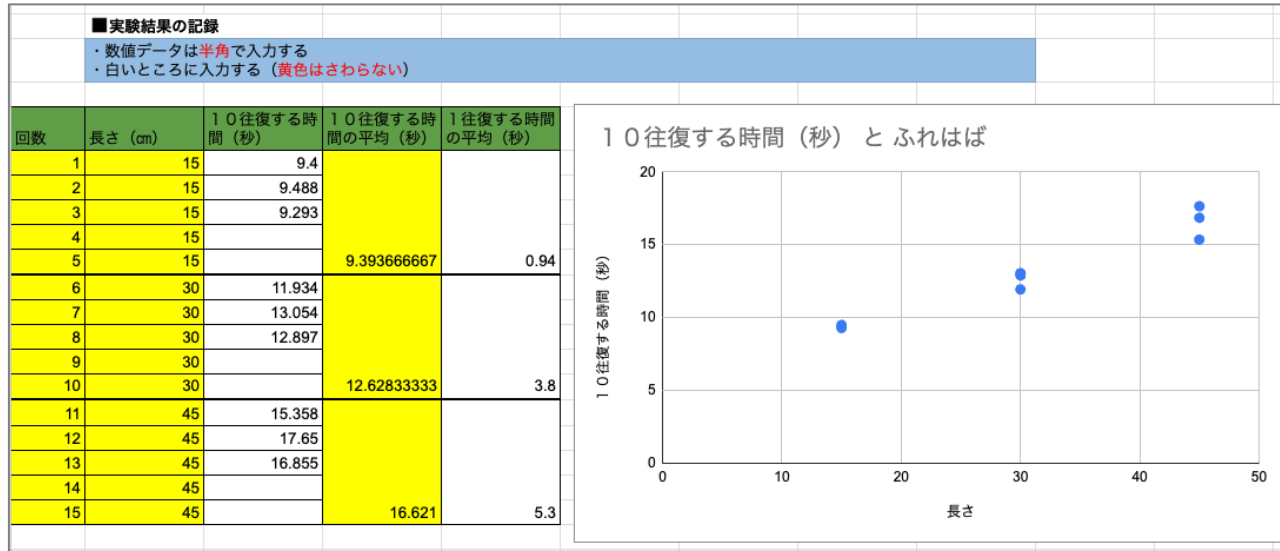
情報活用能力チェックシート

各発達段階で身につけさせたい情報活用能力を「習得目標表」に整理し、全校で育成を目指している。定期的にチェックボックスにレ点をつけることで、児童の学習経験に漏れがないように留意している。高学年では、「情報活用能力チェックシート」に定期的に自己評価をさせることで、児童が自らの資質・能力を自覚し、振り返りながら自己調整的に情報活用能力を高めていけるようにしている。

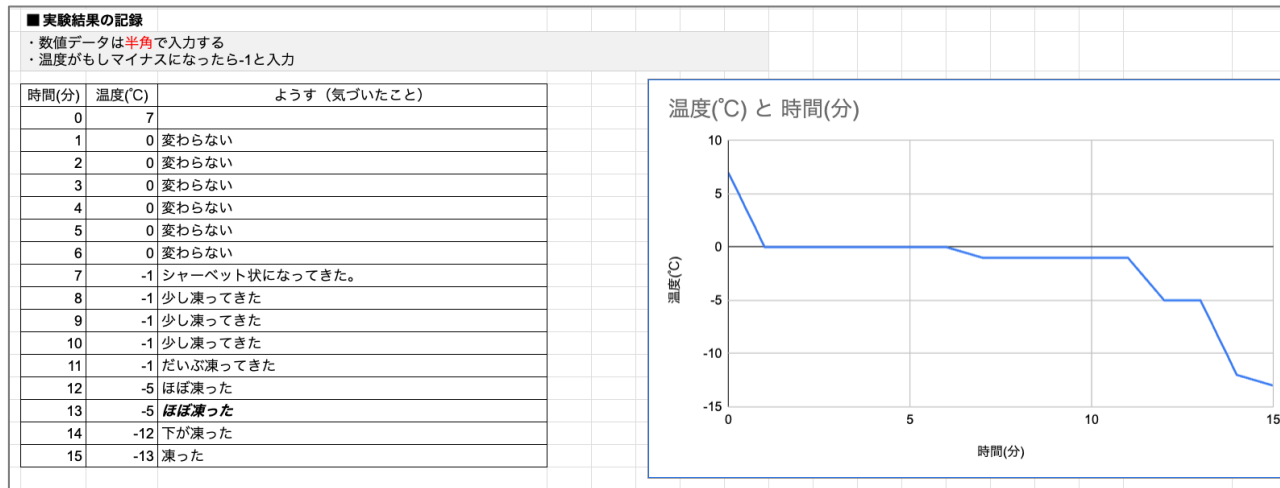
リーディングDXスクール事業【実践事例】

春日井市立松原小学校（愛知県）【協力校】

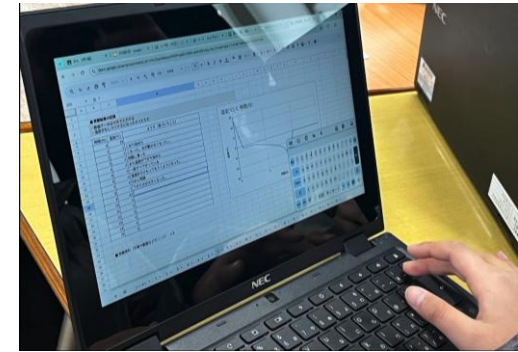
【取組内容】 ② 量的データを表とグラフで整理し、考察するトレーニング



小学 5 年理科 ふりこ（長さを変える実験）



小学 4 年理科 水のすがたと温度（温度を下げる実験）



児童は、数値などの量的データを表に整理し、グラフ化して考察する経験が不足しがちである。そこで、表に数値を入力すると自動でグラフが作成される教材を教師がGoogleスプレッドシートで作成し、量的データの整理・分析のイメージを掴ませている。

慣れてきたところで、徐々に教師が準備する部分を減らし、最終的には児童が全て表とグラフを作成できるようにする。このように、教師が足場をかけ、徐々に外していくことで情報活用能力の育成を図っている。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

春日井市立松原小学校（愛知県）【協力校】

【取組内容】③B 総合的な学習の時間と家庭を繋ぐ個人探究

令和6年度 個人探究学習の実施に向けたお願いについて

日頃は本校の教育活動にご理解ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。
さて、今年度より、4年生以上の全学級で個人探究学習を行います。実施にあたり、お子さんがご家庭で制作や観察、発表の準備等に取り組むことがあるかと思ひます。下記のねらいや概要をご一読いただき、お子さんの学びを応援していただけたら幸いです。よろしくお願い致します。

1 ねらい

- 主体的に学ぶための力を育む機会とする。
 - 自己の興味や好奇心と向き合うことを通して、自己理解を深める機会とする。
- ※ 「うまく学び、うまく発表をすること」よりも、「迷いながらも自分自身の興味・関心と向き合うこと（自己理解）」を大切にしたいと考えています。

2 学習の概要

- 4年生以上の全学級で2学期以降に実施します。開始時期や終了時期は、学年によって異なります。学校での学習時間は15時間程度を予定しています。
- 自分で課題を設定し、課題解決に向けて調べたり観察や制作をしたりしながら学びを深め、最後はスライド（約10枚以内）を用いた発表を全員が行います。

個人探究学習の進め方

流れ	概要
①課題の設定	知りたいこと、できるようになりたいこと等を決めます 例：おいしいクッキーはどのようにしたら作れるのだろうか
②計画	どのように情報の収集や整理・分析をしていくか決めます
③情報の収集	課題を解決するための情報を集めます 例：書籍／インターネット／実験／観察／見学／質問／体験／制作等
④整理・分析	集めた情報を整理し、課題に対する自分なりの答えを見つけます 例：表／グラフ／図／年表／地図／思考ツールなどの図等
⑤まとめ	探究をして分かったことをGoogleスライドにまとめます ※発表時間等の関係で、スライド枚数には制限を設ける予定です
⑥発表会	学年ごとに報告会をします ※発表会の時期や方法は学年によって異なります

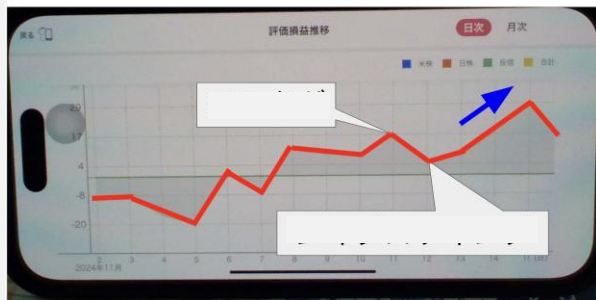


まとめの例 (Googleスライド)

体験

「投資」に関する探究をし、家族の協力を得て個別株式の運用を体験した児童

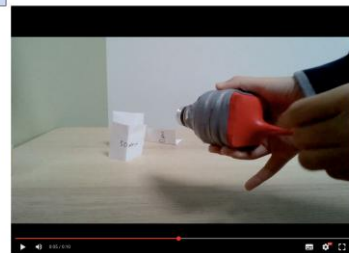
③実際に運用してみても



製作と撮影

「空気砲」に関する探究をし、家庭で空気砲を製作して威力を検証した児童

作った空気砲



家庭での個人探究の学習例

4年生以上の全学級で、総合的な学習の時間の枠組みで個人探究を実施している。児童が、自分で課題を設定し、計画を立てて学び、最終的に発表をするという学習活動である。しかし、学校だけでは、リソースに制約があることから、家庭へも文書や動画等で協力を依頼し、**実験、観察、製作、調理、見学、インタビュー**等は家庭で行うことを前提に実施した。大半の児童が家庭でも個人探究に取り組んだ。

家庭への個人探究協力依頼文書(上段)・動画(下段)